



2021年12月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年8月10日

上場会社名 アライドアーキテクト株式会社
 コード番号 6081 URL <https://www.aainc.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 中村 壮秀

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長 (氏名) 大野 聡子

TEL 03-6408-2791

四半期報告書提出予定日 2021年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第2四半期の連結業績(2021年1月1日～2021年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第2四半期	3,106	66.0	399	850.7	461	6,940.9	442	451.5
2020年12月期第2四半期	1,871	8.8	42		6		80	

(注) 包括利益 2021年12月期第2四半期 408百万円 (333.1%) 2020年12月期第2四半期 94百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円銭	円銭
2021年12月期第2四半期	31.43	31.24
2020年12月期第2四半期	5.72	5.71

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第2四半期	3,563	2,211	60.7
2020年12月期	3,199	1,775	54.2

(参考) 自己資本 2021年12月期第2四半期 2,162百万円 2020年12月期 1,734百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
2020年12月期		0.00			
2021年12月期		0.00			
2021年12月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2021年12月期の配当予想額は未定であります。

3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日～2021年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当 期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	5,500	31.2	600	100.9	670	189.4	550	217.4

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正につきましては、本日(2021年8月10日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(注) 特定子会社には該当ませんが、第2四半期連結会計期間において、株式会社ネクストバッターズサークルを設立したことに伴い、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年12月期2Q	14,137,374 株	2020年12月期	14,091,900 株
-------------	--------------	-----------	--------------

期末自己株式数

2021年12月期2Q	23,593 株	2020年12月期	23,544 株
-------------	----------	-----------	----------

期中平均株式数(四半期累計)

2021年12月期2Q	14,080,830 株	2020年12月期2Q	14,019,156 株
-------------	--------------	-------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1.(1)経営成績に関する分析」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(連結の範囲または持分法適用の範囲の変更)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(重要な後発事象)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

新型コロナウイルス禍により大きく事業環境が変化中、日本のみならず世界全体としてDX（デジタルトランスフォーメーション）推進の波が押し寄せ、本格的なデジタル・ソーシャル時代が到来しようとしています。また当社グループが事業を展開するマーケティング領域におきましてもDXの流れは一気に加速しております。

このような背景のもと、当社グループでは、企業のマーケティングDXへの対応を支援するため、自社開発のマーケティングSaaSツールの提供やSNS活用を中心としたソリューション提供といった『顧客企業と人をつなぐ』BtoBビジネスを展開しております。

当社グループは、中期テーマとして「マーケティングDX支援企業として圧倒的ポジションの確立」を掲げており、今期2021年12月期は中期テーマ達成のための第1ステージと位置づけ、『SaaSの強化とデジタル人材の拡充』を実施していく方針です。

新型コロナウイルスによる当社業績への影響につきましては、当2四半期連結累計期間においては特段の悪影響はなく、コロナ禍をきっかけとしたマーケティングDXの需要拡大は当社の事業環境にとって追い風との認識をしております。しかしながら、緊急事態宣言の継続等、コロナ情勢は依然として不透明であり、収束時期の見通しは立たない状況が続いております。当社グループではこのような状況は当連結会計年度中は一定期間続くものの、年度末にかけて緩やかに改善すると仮定しております。

しかしながら、かかる仮定は不確実性が高いことから、この仮定に変化が生じた場合には、将来における財政状態、経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

当社の報告セグメントは、マーケティングDX支援事業の単一セグメントとしておりますが、事業区分ごとの概況は以下の通りであります。

なお、当社グループでは、経営管理指標として「粗利売上」（注）を設定しており、売上高と共に収益性を図る指標として管理しております。

（注）粗利売上＝売上高－直接原価

①SaaS事業

自社開発のマーケティングSaaSツールの提供と、SaaSで補いきれないマーケティングDX施策の提供を合わせて提案することによって、顧客企業のマーケティングDX推進に貢献し、マーケティング人材の質的・量的な不足を補い、少ない広告予算でもより効果的な成果を上げるための支援を行っております。

当第2四半期連結累計期間におきましても、コロナ禍をきっかけとしたマーケティングDXの需要拡大が追い風となっており、ダイレクトマーケティングの成果向上を実現するツール『Letro（レトロ）』や2020年5月にリリースした動画作成ツール『LetroStudio（レトロスタジオ）』の月額課金型売上が順調に推移しております。また、ショット型売上は、TwitterやInstagramによるプロモーションを効率的に行うためのツール『echoes（エコーズ）』を利用したキャンペーン案件中心に順調に増加しました。

さらに、ツールの機能を複数利用するアップセルや、複数ツールのクロスセルにより顧客平均単価が上昇致しました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間において、売上高及び粗利売上は前年同期比で増加いたしました。

②海外SaaS事業

シンガポールの連結子会社であるCreadits Pte. Ltd.（以下、「Creadits」という。）は、欧米を中心としたグローバル市場において、デジタル広告制作を低コストで効率的に行いたい企業と、スキルの高い世界中のデザイナーをマッチングする、広告クリエイティブ制作に特化したグローバルプラットフォーム「Craft」（「CREADITS®」から名称変更）を提供しております。また、2021年5月、クリエイティブ制作のプロジェクト管理ツール「Huddle」を新たにリリースいたしました。

当第2四半期連結累計期間におきましては、引き続きゲーム業界に属する既存顧客を中心に、単価の高い3Dのクリエイティブ制作の受注が増加しており、順調に推移いたしました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間において、売上高及び粗利売上は前年同期比で増加いたしました。

③ソリューション事業

ファンの存在をマーケティングに活用し、ビジネスの成長を目指す概念が浸透しつつある中で、「SNS活用」や「ファン育成支援」をキーワードに、顧客企業のマーケティングDX課題において企画立案から施策の実行までを包括的に支援する事業を行っております。

当第2四半期連結累計期間においては、本事業においてもコロナ禍でのDX加速の流れを受けて、ファンとSNSを掛け合わせたマーケティングニーズの高まりが追い風となっており、特に既存顧客からの追加施策の依頼が増えるなど、1顧客当たりの売上高が増加しております。また、2021年4月、デジタルマーケティング人材を育成し、顧客企業との人材シェアリングを行う新会社「株式会社ネクストバッターズサークル」を設立いたしました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間において、売上高、粗利売上ともに前年同期比で増加いたしました。

④中国進出支援事業

近年急速に市場が拡大している越境ECへの出店による中国進出をしたい日本企業等に対し、日本の商品に愛着のある在日中国人や中華圏で人気のある日本人インフルエンサーの発信力を活用したプロモーション等の支援を行っております。また、従前はインバウンド市場において訪日外国人をターゲットに商品やサービスを提供したい企業のうち、特に化粧品・健康食品・日用品等の日本の消費財メーカーに対する各種支援も行っていましたが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い人の往来が制限されていることから、インバウンド支援の需要については縮小しております。

当第2四半期連結累計期間におきましては、越境EC進出支援において、中国SNSアカウント運用とインフルエンサーによる拡散を合わせたビジネスモデルを強化したことにより安定的に収益を確保いたしました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間において、売上高及び粗利売上は前年同期比で増加いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,106,123千円（前年同期比66.0%増）となり、売上高の増加に伴い売上総利益は1,318,808千円（前年同期比37.0%増）、営業利益は399,769千円（前年同期比850.7%増）となりました。経常利益は、為替差益及び持分法による投資利益を計上したこと等により461,311千円（前年同期比6,940.9%増）となり、また親会社株主に帰属する四半期純利益は、投資有価証券売却益を計上したこと等により442,495千円（前年同期比451.5%増）となりました。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)	前年同期比
売上高	1,871,412千円	3,106,123千円	+66.0%
粗利売上	1,106,693	1,500,106	+35.5%
売上総利益	962,341	1,318,808	+37.0%
営業利益	42,051	399,769	+850.7%

(2) 財政状態の分析

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて364,379千円増加し、3,563,723千円となりました。これは主に、現金及び預金が294,833千円、受取手形及び売掛金が50,209千円それぞれ増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて71,246千円減少し、1,352,124千円となりました。これは主に、前受金が71,013千円、未払法人税等が46,585千円、未払消費税等が63,274千円それぞれ増加した一方で、借入金の返済に伴い、短期借入金が100,000千円、長期借入金（1年内返済予定長期借入金を含む）が180,034千円それぞれ減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて435,625千円増加し、2,211,599千円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したことにより利益剰余金が442,495千円増加したこと等によるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ294,833千円増加し、1,465,730千円となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果増加した資金は、412,575千円となりました（前年同期は73,313千円の増加）。これは主に、税金等調整前四半期純利益を593,396千円計上したこと等により資金が増加した一方、投資有価証券売却益を173,530千円計上したこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果増加した資金は、135,713千円となりました（前年同期は206,286千円の増加）。これは主に、投資有価証券の売却による収入が173,530千円あった一方、無形固定資産の取得による支出が33,950千円となったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果減少した資金は、263,258千円となりました（前年同期は306,670千円の増加）。これは主に、短期借入金の返済による支出が100,000千円、長期借入金の返済による支出が180,034千円あったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、第2四半期連結累計期間までの業績の進捗を踏まえ、2021年5月12日に公表致しました通期の業績予想を修正致しました。詳細につきましては、本日（2021年8月10日）付で別途開示しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、新型コロナウイルス禍による影響は当連結会計年度中は継続するものと予想しております。今後につきましては、経済情勢を注視し、業績に変動が見込まれる場合には速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,170,897	1,465,730
受取手形及び売掛金	941,050	991,259
仕掛品	1,712	265
未収還付法人税等	4,493	-
その他	114,969	134,372
貸倒引当金	△28,366	△31,955
流動資産合計	2,204,755	2,559,672
固定資産		
有形固定資産	62,348	64,103
無形固定資産		
のれん	8,002	7,060
その他	149,434	142,633
無形固定資産合計	157,436	149,694
投資その他の資産		
投資有価証券	686,818	688,287
繰延税金資産	1,655	8,616
その他	96,715	106,700
貸倒引当金	△10,384	△13,351
投資その他の資産合計	774,804	790,253
固定資産合計	994,588	1,004,050
資産合計	3,199,344	3,563,723
負債の部		
流動負債		
買掛金	284,490	300,302
短期借入金	100,000	-
1年内返済予定の長期借入金	308,629	212,087
未払法人税等	123,498	170,084
その他	263,814	410,204
流動負債合計	1,080,432	1,092,678
固定負債		
長期借入金	342,938	259,446
固定負債合計	342,938	259,446
負債合計	1,423,370	1,352,124
純資産の部		
株主資本		
資本金	840,830	854,411
資本剰余金	1,151,634	1,165,215
利益剰余金	△340,659	101,836
自己株式	△11,915	△11,965
株主資本合計	1,639,890	2,109,498
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	28,269	40,285
為替換算調整勘定	66,552	12,410
その他の包括利益累計額合計	94,821	52,695
新株予約権	7,801	7,716
非支配株主持分	33,460	41,689
純資産合計	1,775,973	2,211,599
負債純資産合計	3,199,344	3,563,723

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
売上高	1,871,412	3,106,123
売上原価	909,071	1,787,315
売上総利益	962,341	1,318,808
販売費及び一般管理費	920,289	919,039
営業利益	42,051	399,769
営業外収益		
受取利息	53	12
受取配当金	-	6,323
持分法による投資利益	-	26,073
為替差益	-	28,836
補助金収入	4,618	1,317
その他	371	1,648
営業外収益合計	5,043	64,211
営業外費用		
支払利息	3,417	1,875
株式交付費	12,600	399
為替差損	13,101	-
投資事業組合運用損	689	394
持分法による投資損失	9,166	-
その他	1,568	-
営業外費用合計	40,543	2,669
経常利益	6,551	461,311
特別利益		
新株予約権戻入益	2,856	84
投資有価証券売却益	108,800	173,530
段階取得に係る差益	8,721	-
特別利益合計	120,377	173,614
特別損失		
投資有価証券評価損	-	41,529
関係会社整理損	4,432	-
特別損失合計	4,432	41,529
税金等調整前四半期純利益	122,497	593,396
法人税、住民税及び事業税	42,199	154,936
法人税等調整額	△2,762	△12,264
法人税等合計	39,436	142,672
四半期純利益	83,060	450,723
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,829	8,228
親会社株主に帰属する四半期純利益	80,230	442,495

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益	83,060	450,723
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,119	12,016
為替換算調整勘定	10,153	△54,142
その他の包括利益合計	11,273	△42,125
四半期包括利益	94,333	408,598
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	91,504	400,369
非支配株主に係る四半期包括利益	2,829	8,228

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	122,497	593,396
減価償却費	60,864	56,241
のれん償却額	470	941
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	14,497	7,681
受取利息及び受取配当金	△53	△6,335
支払利息	3,417	1,875
株式交付費	12,600	399
為替差損益 (△は益)	△4,552	△51,297
投資事業組合運用損益 (△は益)	689	394
段階取得に係る差損益 (△は益)	△8,721	-
持分法による投資損益 (△は益)	9,166	△26,073
投資有価証券評価損益 (△は益)	-	41,529
投資有価証券売却損益 (△は益)	△108,800	△173,530
新株予約権戻入益	△2,856	△84
関係会社整理損	4,432	-
売上債権の増減額 (△は増加)	44,117	△31,427
たな卸資産の増減額 (△は増加)	3,142	1,446
前払費用の増減額 (△は増加)	2,004	△2,849
未収入金の増減額 (△は増加)	△6,649	△493
長期前払費用の増減額 (△は増加)	-	△16,372
仕入債務の増減額 (△は減少)	△37,304	12,892
未払金の増減額 (△は減少)	300	10,679
未払費用の増減額 (△は減少)	△7,480	△7,623
未払消費税等の増減額 (△は減少)	288	63,308
前受金の増減額 (△は減少)	△1,386	70,179
その他	△15,705	△36,502
小計	84,980	508,376
利息及び配当金の受取額	53	6,335
利息の支払額	△3,633	△1,895
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△8,087	△100,241
営業活動によるキャッシュ・フロー	73,313	412,575
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,262	△3,730
無形固定資産の取得による支出	△58,127	△33,950
投資有価証券の売却による収入	228,616	173,530
出資金の払込による支出	△10	-
敷金の差入による支出	-	△135
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	37,070	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	206,286	135,713
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	100,000	△100,000
長期借入れによる収入	100,000	-
長期借入金の返済による支出	△175,646	△180,034
自己株式の取得による支出	-	△49
株式の発行による収入	-	26,762
非支配株主からの払込みによる収入	313,883	-
リース債務の返済による支出	△31,567	△9,937
財務活動によるキャッシュ・フロー	306,670	△263,258
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,357	9,802
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	584,913	294,833
現金及び現金同等物の期首残高	656,346	1,170,897
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,241,260	1,465,730

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(連結の範囲または持分法適用の範囲の変更)

当第2四半期連結会計期間において、株式会社ネクストバッターズサークルを新規に設立し子会社化したため、連結の範囲に含めております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、マーケティングDX支援事業を主な事業とする単一セグメントであるため、記載を省略しております。